

首相官邸

有識者会議に出席

百年に一度の経済危機を克服するため、麻生首相が金融や地域経済、労働、社会保障などに、八十四人を十のブロックに分け、様々な分野から今後の経済対策のあり方について直接意見を聞く、「有識者会議」が、三月十六日から二十



有識者会合に臨み、麻生首相(左)とあいさつを交わす岩田町長(左奥)ら(席次は50音順)

一日まで開催されました。二十日に行われた「地方自治体・地域経済」部門に岩田町長が出席し、大阪府の橋下知事、宮崎県の東国原知事らとともに、「地方自治」の重要性や地方財政への支援拡充などを求めました。内閣府の担当者からは、出席者の発言は「一人三分」、「提言は一つ」とされ、各分野のエキスパートがえりすぐりの思い、考えを述べました。岩田町長は、生命の源である森林の将来について「十年後森林を守る担い手がいるかどうか懸念される中で、山林の現状とその実態を打開する方法として、荒廃している森林の間伐・林道整備費の国負担と山林にはびこっている竹林の伐採を、三年間集中して実施することで、林業の担い手育成、森林の再生、I・Uターンによる雇用対策につながる」と提言しました。麻生首相は、それぞれの意見に真剣な表情でうなずき

がら、「地方重視」の姿勢で政権に臨む考えを強調されていました。

- 【地方自治体・地域経済部門】
- 出席閣僚等
- ・麻生内閣総理大臣
- ・河村内閣官房長官
- ・与謝野財務大臣
- ・二階経済産業大臣
- ・日本銀行総裁
- 傍聴者
- ・経済財政諮問会議の委員
- 地方自治体
- 地域経済関係有識者
- ・岩田一郎(島根県奥出雲町長)
- ・笠松和子(徳島県上勝町長)
- ・清原慶子(東京都三鷹市長)
- ・佐藤俊彰(ホクレン代表)
- ・高木繁雄(北陸銀行頭取)
- ・橋下 徹(大阪府知事)
- ・東国原英夫(宮崎県知事)
- ・古田 肇(岐阜県知事)
- ・本田敏秋(岩手県遠野市長)

横田高校女子ホッケー部 全国高校選抜ホッケー大会で2連覇

- 試合結果
- 第1回戦 4-0 小国(熊本)
 - 第2回戦 6-0 岐阜総合学園(岐阜)
 - 準決勝 2-0 米沢商(山形)
 - 決勝 4-0 羽衣学園(大阪)



2連覇を達成し、歓喜に沸く横田高女子ホッケー部



報告会の様子(仁多庁舎前)

第40回全国高校選抜ホッケー大会が、岐阜県各務原市の県立グリーンスタジアムで行なわれ、横田高校女子ホッケー部が決勝戦で、近畿地区代表の羽衣学園(大阪)を4-0で下し、2年連続3度目の優勝(女子の大会2連覇は史上3校目)を果たしました。

3月31日には、役場両庁舎で優勝報告会が開催され、多くの町民、ホッケー関係者が選手たちの活躍を称えました。

小櫻和裕監督は「一日一日の積み重ねが優勝につながった。ディフェンス陣の頑張り、フォワードにリズムを作り、強い守備力を生んだ。昨年悔しい思いをした総体、国体で結果を残したい」と挨拶。

また、牛尾朱里主将が大会を振り返り「最高の結果を出すことができた。感謝の気持ちを忘れず、夏の総体、秋の国体で連覇できるように頑張りたい」とお礼と決意が述べられました。

同チームは、昨年選抜を制したものの、総体は初戦、国体はベスト8で敗れ、今回はその悔しさをバネに、1、2月は積雪でグラウンドが使えない厳しい条件の中、県外遠征で実戦を積み、豊富な練習量と強い精神力で1回戦から決勝まで無失点という粘り強い守りで結果を残しました。

なお、全国大会で5連覇中の男子ホッケー部は、今大会で優勝した強豪天理高校に0-1で惜敗しましたが、その実力は全国トップクラスであることを証明しました。

馬木幼児園がスタート

幼保一元化の全国でも先駆的なモデルとなる、福祉会立馬木幼児園の開園・入園式が四月四日に行われました。

式典には、〇歳から五歳までの入園児五十四人や来賓、保護者など約五百十人が出席。

岩田町長や仁多福祉会の穴戸理事長によつてくす玉が割られると、出席者は大きな拍手で開園を祝いました。

藤原陽子所長は「ふるさとの自然環境を大切に、地域と一体となった保育を行いたい」と挨拶し、五歳児十四人によるハンドベルが披露され、式典に花を添えました。

町では昨年、横田保育所分園を仁多福祉会へ運営を移管し、専任所長の配置、厨房新設による地元食材を取り入れた給食サービスの提供、延長



5歳児らいおん組14名によるハンドベル演奏の様子

保育の実施や放課後児童クラブの開設など子育て支援策の充実を進めてきました。

専門分野に第一歩 島根リハビリテーション学院入学式



誓いの言葉を述べる柴田真衣さん

四月八日、第十二回島根リハビリテーション学院の入学式が、カルチャープラザ仁多で開催され、理学療法学科二十四人、作業療法学科十八人が新しいキャンパスライフをスタートさせました。

式では、入学生一人ひとりの呼名があり、下山誠学院長から「偶然的な出来事に対応できる心をも身につけてほしい。そのためには、確かな知識、細やかな感情、何事も成し遂げる強い意志が大切」と告辞がありました。これを受けて作業療法学科の柴田真衣さんが「自分たちの夢や目的を実現するため勉

学に励み、充実した学生生活を送りたい」と誓いの言葉を述べました。

これから新入生は、理学療法士、作業療法士の国家資格取得を目指し、講義や学外での臨床実習を通じて専門知識を学びます。

島根デザイン 専門学校入学式

四月七日、島根デザイン専門学校入学式と併設する奥出雲工芸房の入所式が行われました。

広告デザインやグラフィック技術などを学ぶビジュアルデザイン科(二年間)の七人と陶芸の技術を学ぶ奥出雲工芸房の研究生(三年間)一人は、奥出雲の恵まれた自然環境の中で、創作の腕に磨きをかけます。



新入生を代表して青山未奈さんが宣誓